

# 和田村史料

(採訪時住所 静岡県志太郡和田村)

目録番号	年号	西暦	干支	閏	月	日	標題	作成	宛名	形態	数量	備考	整理番号
1	明治45	1912			3	8	浜帳	下船		横半帳	1	和田屋・文太郎・水天丸などの名が見える	1
2	大正4	1915			11	吉	鯖船入用帳	和田村田尻北 山梨良吉		横帳	1	冒頭に株所持者として山梨恵吉・鈴木藤助・山梨良吉・橋ヶ谷兼吉・松浦兼吉・北野岩吉・藤ヶ谷文太郎等の名が挙っている	2
3	大正8	1919			7	初	水揚船帳（船株、船泊、配当金、入用等水揚に関わる各種仕訳帳）	松福丸 橋ヶ谷川松		ノート	1	松福丸の株所持者として、長谷川作十・橋ヶ谷兼吉・鈴木藤助・松浦兼吉・山梨良吉・藤ヶ谷文太郎・北野岩吉等の名が挙っている	3
4	大正11	1922			初		船本揚帳 第巻号（大正11年8月27日勘定～大正13年8月4日勘定まで記載。水揚高、株数、諸入用、一人当たりの配当金などを計算している。）	第七十七番地 川松		ノート	1	株所持者として、長谷川作十・橋ヶ谷兼吉・松浦兼吉・山梨良吉・鈴木藤助・藤ヶ谷文太郎・北野岩吉等の名が挙っている	4

## 解題 和田村史料

### 一史料の概要と特色一

「和田村史料」と題された本史料群は、昭和 24 年より水産庁が財団法人日本常民文化研究所に委託する形で始まった「漁業制度資料調査保存事業」によって収集されたものと推測されるが、その際にかかれてはいるはずの借用・寄託・寄贈に関する書類が残されていないため、詳細は不明である。

内容としては、4 点とも漁船の経営に関する帳簿あるいはノートで、漁船の株所有者に共通の名が見え、本史料群の 4 点は同一の探訪地から収集された一括史料と考えられる。

静岡県志太郡和田村は、明治 22 年～昭和 29 年の自治体名で、昭和 30 年以降焼津市となった。4 点の帳簿の内 3 点は、漁船の勘定帳で、鯉あるいは鯖の水揚高から船代、網代、その他諸経費を差し引いた後、乗船員の持ち株に応じて配分したものを記録したものである。

(文責 越智信也)